

防災体験学習 体験コーナー進行マニュアル

コーナー	暗闇体験
目標	暗闇を体験することで、明かりを備えておく重要性を理解する。
スタッフ数	3、4名
準備物	グループで使用するケミカルライトかペンライト等は複数 懐中電灯・ヘッド式ライト・ケミカルライト等(ゴールで確認用) ペットボトルを切ったもの(切り口でケガをしないか確認しておく)・用意できるのであれば(ガラス片を想定) ステージの場合は、小さな音の出るもの
会場	体育館のステージか、暗幕のある教室 机やイス、モップ等、複数が移動するコースを確保しながら、ランダムに置き、布粘着テープで床に固定する。 床にペットボトルを切ったものを散らす。 コース中に1、2名のスタッフを配置し、安全を確保する。
進行	<ol style="list-style-type: none"> 1 入口に集合、コーナーの内容を説明する。 2 中が暗いので、グループごとにゆっくりと出口まで歩くように伝える。 教室の場合は反対側の出入口、ステージの場合は音のする方向が出口 3 グループに1本のケミカルライト・ペンライト等を渡す。 4 中に入ったら、最初は動かずに目を慣らし、少し見えてきてから歩くように注意する。 中にスタッフがいることも伝える。 5 ドアもしくはカーテンを開け、1グループを中に入れる。 6 ステージの場合は反対側で小さな音を出し、そちらへと誘導する。 7 ゴールまできたら、小さな明かりをつける。 8 ケミカルライト、ヘッド式ライト、懐中電灯の順番で明かりをつけ、明るさを実感させる。
進行上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・脅かしたり、怖がらすことではなく、暗闇を体験するコーナーであることを説明。地震の直後に真っ暗になることを想定させる。 ・会場のセッティングをした後、スタッフで体験して危険箇所をチェック。机を移動するなど、安全を確保する。

